



# 南十字星

発行者  
クイーンズランド  
補習授業校  
校長  
丸山吉信

## 今後の予定

- 二月四日
  - ・ GC 新入学者合格発表
  - ・ GC 内部進学判定結果発送
- 二月五日
  - ・ BNE 新入学者合格発表
- 二月七日
  - ・ BNE かるた・百人一首 (幼稚園部 節分)
- 二月九日
  - ・ BNE 補講 (二時十五分下校)
- 二月十一日
  - ・ BNE 入学継続手続き (十九日迄)
- 二月十四日
  - ・ GC 入学継続手続き (二十日迄)
- 二月十四日
  - ・ GC 補講 (二時十五分下校)
  - ・ BNE 理科学習の日
- 二月二十一日
  - ・ BNE 補習校 & JCB 古本市
- 二月二十八日
  - ・ GC 補講 (二時十五分下校)
  - ・ GC 第四回運営委員会
  - ・ GC 教員研修 (十四日から変更)

三月七日

・ BNE 卒業式

三月十四日

- ・ GC 卒業式
- ・ 両校第四学期終業式
- ・ 後期成績通知表配布

## 第四学期の始業にあたって

長い夏休みが終わり、補習校に子供たちが帰ってきました。二十四日は、ゴールドコースト校が洪水による休校のため、ブリスベン校の始業式となりましたが、ゴールドコースト校でも翌週に始業式をすることができました。ブリスベン校の始業式では、司会の中学生がテニスの錦織圭選手の話をしてくれました。また、ゴールドコースト校ではサッカーのアジアカップの話をしてくれました。

テニスのブリスベンインターナショナルは、会場がブリスベンだったこともあり、ブリスベン校の子供たちが応援に駆けつけました。

また、テニスだけではなく、サッカーの試合もありました。アジアカップ

の日本対イラク戦では、ブリスベン校の子供たちがエスコートキッズとしてお手伝いしました。主に小一、小二の子供たちが選手と手を繋いで入場する役を堂々とこなしてくれました。とても立派にできましたので、始業式でほめてあげました。

さらにもうひとつ、ブリスベン校だけでなくゴールドコースト校でもほめるべきことがありました。十二月の両校の終業式で私は子供たちに休暇中に勉強するよう話してありましたが、結果はどうであったかを訊いてみました。私が「休みの間に勉強をした人？」と問いかけると、たくさんの子供たちが手を挙げました。これには少々驚きました。たとえ本当に勉強したとしても、この問いかけに両校とも大勢が挙手するとは思っていませんでした。ところが、特に、低学年の子供達が元気に「は〜い」と言いながら手を挙げたときは、ほめたい気持ちでいっぱいでした。

しかしながら、中には勉強をしようと思っても何をやらなければならないという子供もいることと思いい、次のような話をしました。

「勉強しなさいと言われてたり、勉強しようと思っても、どうするの

かわからないと思ったことはないですか。勉強って何？何するの？と私も子供の頃に思ったことがあります。勉強とは、読むことです。どうしたらよいかかわからないときは、教科書を読んでみましょう。勉強する、と聞くと、机に向かい、算数の問題をノートに解くような姿を思い起こしますが、勉強の基本は読むことです。算数でも、教科書の例題やノートを読んで、解き方を覚えなければなりません。勉強とは読むことです。ですから、どうしたらよいかかわからないときは、勉強とは読むこと、と言いついてみて下さい。それでもうまくできない人に秘訣を教えましょう。座って集中できないときは、部屋の中を立ったままうろうろして、声を出して読み続けるといいと思います。」

この「立ち歩き音読法」は結構効き目があります。目標のところまで読まなければ座れないと自分に言い聞かせるのです。座って集中できないときは、とかく、教科書の表紙を眺めたり、裏表紙を眺めたり、発行年月日を見たり、明日からの学習計画を立てたりすることで満足してしまいがちです。

今、様々な科学技術分野で日本は世界の役に立っています。その大人たち

も子供のときは、補習校の子供たちが持っているのと同じ理科の教科書を見て科学者を夢見たり、算数が好きになったりしたのです。皆さんは、オーストラリアの教科書や日本の教科書を読み、大いに興味を育てて下さい。皆さんの可能性は無限です。

### 全校朝会スピーチ

十一月十五日

G C中二 大沢江里香

皆さんは横浜に行ったことがありませんか。私は何年前かに横浜に行った際に、横浜港博物館などいくつかの博物館へ行きました。博物館に入って最も強い印象を受けたのが黒船の来航に関しての展示でした。

昔、日本は鎖国をしていました。鎖国とは他の国と外交をしない、他の国とお話をしない、ということでした。日本は、一六三九年から一八五四年まで鎖国をしていました。つまり、日本は二一五年間、オランダと中国以外の国とは外交を行わなかった、ということなのです。しかも、オランダは長崎の出島というところにしかいられませんでした。出島から出るには許可が必要でした。そんなとき、日本に来たのがペリーでした。マシューペリーは、アメ

リカの人で、一八五三年に船四隻でやって来ました。その際に、アメリカ合衆国大統領国書が渡され、その年には日米和親条約を結びました。その条約は、日本は下田と函館に港を開き、そこでアメリカの船に石炭や水、食料などを供給するというものでした。蒸気機関車なども海外から導入されました。

その後、日本はどんどん近代化していきました。それまでに日本は他国とほとんど貿易を行っていませんでしたが、開国して外国と貿易を始めると、毛織物、綿織物などが輸入されるようになり、また、日本からは生糸やお茶が輸出されるようになり、日本の経済に大きな影響を与えました。

このように、たった一艦隊の船の来航で国ひとつを大きく変えられるというところに、私は驚くとともに感心しました。こういう歴史上の大きな出来事がたまにあるのは、とても面白いと思います。横浜に行った際には、ぜひ黒船に関するところにも行って見て下さい。

十一月二十二日

BNE 中二 三井慎太郎  
先週、ブリスベンのサウスバンクで

G20がありました。G20とは、グループ オブ トウエンティの略です。二十か国のリーダーが集まって会議をしました。日本の安倍総理もアメリカのオバマ大統領も来ました。そこで、テロリストなどがいては危ないため、道をいっぱい止めて警察が見張っていました。だから、補習校も休みでした。会議内容は世界の経済についてなどです。皆さんも大人になったら総理大臣になりたいですか。

十二月三日

BNE 中二 八木夏海

今週の水曜日に日本の種子島宇宙センターから「はやぶさ2」が打ち上げられました。はやぶさ1号機は2003年に打ち上げられ、小惑星「イトカワ」からたくさんのお土産を持ち帰り、2010年に南オーストラリア州のウーメラ砂漠に着陸しました。「はやぶさ2」は、はやぶさ1号機を発展させ、二年半の開発期間を経て打ち上げられました。「はやぶさ2」の打ち上げ目的は、小惑星「1999 JQ3」からサンプルを持ち帰ることです。二〇二〇年の終り頃に地球に帰ってくる予定です。六年後、はやぶさ1号機のように、無事に、サンプルを持ち帰

つてきてくれることを期待します。

### お知らせ等

(一) 前号で「BNE補習校&JCB古本市」を二月七日と案内しましたが、正しくは二月一四日です。お詫びして訂正いたします。

(二) BNEの先週の補講では、当番のやりくり等、保護者の皆様にご協力いただきました。御礼を申し上げます。急な決定となり、混乱させてしまいましたことを改めてお詫び申し上げます。

(三) GCの洪水休校の補講を二月十四日と二十一日に実施します。お弁当のご用意をお願いいたします。

(四) BNEの理科学習日が二月十四日になっています。当日は、教科書を忘れないで持参するようお願いいたします。

(五) 来年度のBNE理社学習が次の通りとなりましたので、お知らせします。

・六月六日&十一月二十八日

「社会」朝学習、「理科」五校時、六校時授業(五校時は、一二時五五分〜一三時四〇分、六校時は一三時四五分〜一四時三〇分、各四五分授業)  
・八月二十二日&二月六日「社会」朝学習のみ実施(理科授業なし)